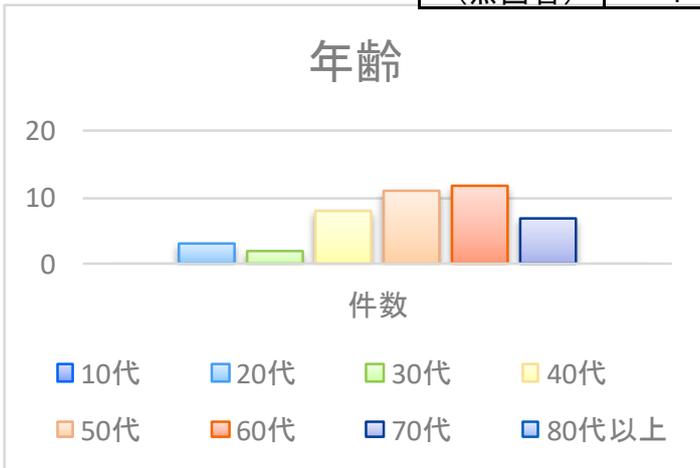


第 2 回 東海村 “自分ごと化” 会議アンケートまとめ（傍聴者）

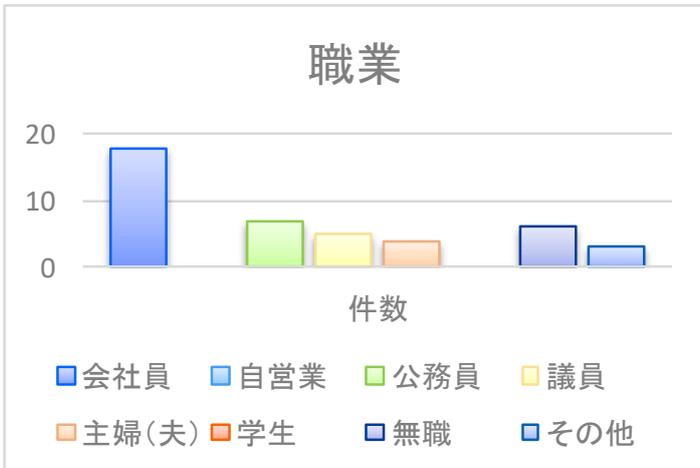
回答数：43 件



性別	件数	お住まい	件数	傍聴回数	傍聴回数件数
男性	34 (79%)	東海村	25 (58%)	1回目	18 (42%)
女性	9 (21%)	その他	17 (40%)	2回目	24 (56%)
		(無回答)	1 (2%)	(無回答)	1 (2%)

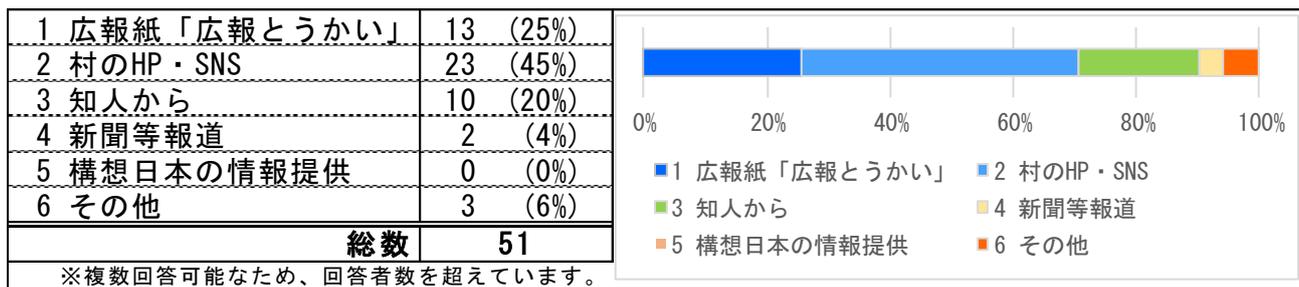


年齢	件数
10代	0 (0%)
20代	3 (7%)
30代	2 (5%)
40代	8 (19%)
50代	11 (26%)
60代	12 (28%)
70代	7 (16%)
80代以上	0 (0%)



職業	件数
会社員	18 (42%)
自営業	0 (0%)
公務員	7 (16%)
議員	5 (12%)
主婦(夫)	4 (9%)
学生	0 (0%)
無職	6 (14%)
その他	3 (7%)

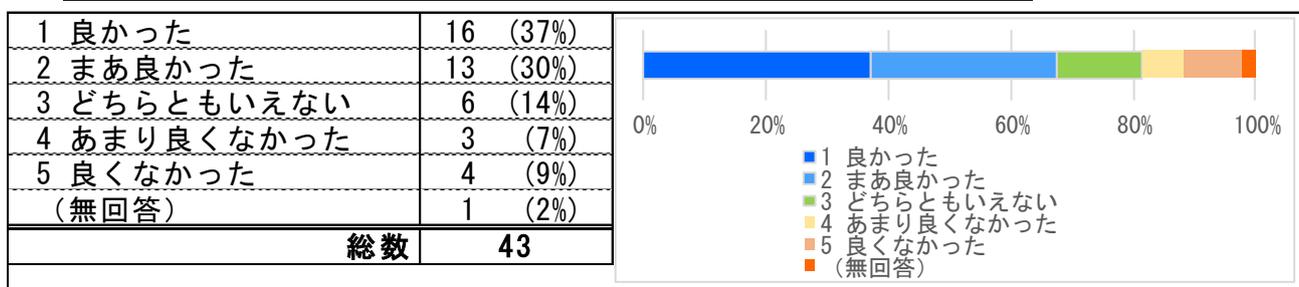
1 東海村「自分ごと化会議」を何で知りましたか。



【その他の回答】

- HP、SNS 以外の村からの情報
- 以前から知っていた

2 第2回東海村”自分ごと化”会議について、どう思われましたか。



「第2回東海村”自分ごと化”会議について、どう思われましたか」の回答理由

- 難しい課題にもかかわらず、議論活発だった
- 皆さんが率直な意見を述べていた。
- このような評価はできない
- 草の根的にはなりますが、原子力に対する議論の深まりを感じるの。
- 参加者からの発言が少ない。(一部の人に限られていた)
- 交付金はじめ欲について考える機会になった。欲と正義のバランス感覚が問われているように思う。
補償は天井しらず。
茅野さんの助言はメンバーは深く考えて欲しい
- 主たる議題であった交付金については、頂いていることについて良しとする意見があったことは想定内。
一方で、このままではいけない、交付金がなくなった場合(未来)を考えておくべきという意見もあり、参考になった。
再稼働反対の意見もあったが、概ね、利益 > リスクという考えが大半。
その他色々意見が伺えた。

- これぞ「デモクラシー」でないか！
茅野先生が突っ込んだカネのデータを示してくださったこと。
アマチュアが集まり議論する「デモクラシー」の学校と感動した
- 電源交付金の内訳が分かったのがよかった
再生エネルギーの状況、原子力以外の技術の話が出て安心した。
似た地域（青森）の話は興味深かった。
- お招きした先生がしゃべり過ぎ。説明や補足は必要だと思うが、もうちょっと参加者へ話題
転換するような配慮をして欲しかった。
お金の話はさけてはとおれない話題。もらい方、使い方、今後…考えるテーマとしては Good
☆
- 茅野さんは、話題提供者として不適では？自分の考えが出すぎ
もう少し、参加者の発言が多いとイメージしていた
- 色々な話が聞けてよかった
今後にも期待します
- お金の説明が非常に興味がある分野で良かった
- 参加者への発言の時間が、半分以上あり良かった。
さらには参加者に発言して欲しいテーマや知りたいことや質問などを予め準備してもら
と、更に良いものではないでしょうか。
今回は情報提供者の2名の教授の方々が自分の見解や意見を言い過ぎている。
- 本音の声を聞くことができた
- 交付金もらえるならよいと考える人が多く、自分の村だけよければよい。との意見が多く、
いまだに帰宅出来ない4万人もの人がいる福島原発事故の教育が考えられないあまりに軽
ざる議論？
- 多様な物の考え方を知った
よく考えて話していた
- 茅野先生、議論を誘導する意図で話しすぎ。議論が深まらない
- 茅野さんは、自分の意見をいいすぎ。この人の意見を聞く必要はない。
- 原子力/エネルギー問題の住民議論が広がっている。
- 会議参加者の自然な意見が聞けたと思う。
自然で良い方向に進んでいると感じた。
- コスト等のデータの元が朝日新聞の記事ベースとなると、正しいのかギモン。
- 東海村に住み始めて数年ですが、今まで原子力について考えることがなかったですし、知る
きっかけもなかったので、村民の方々や専門家の方々のお話がきけて良い時間でした。
- 選ばれた方なのであれ以上の意見はないのかなと感じた
- 目的がわからなかったので評価ができない。
「自分ごと化」するための場とは思えなかった
ファシリテーターが予見を持って話しているように感じた。しゃべりすぎ。あなたの意見は
不要

時間の管理ができないのはファシリテーターとして失格

5分で終わると言ったら責任をもって5分で終わらせるべき

- 原発の説明が偏っていたので、それらを指摘できることが必要
廃炉スケジュールの遅れ、廃棄物処分先がないこと、安全対策費はほとんど東電負担
- 但し、講演者（外部）（茅野氏）の意見に引きずられかねない。事実を議論すべき。村民の会議にすべき
- 多面的かつ長いスパンで原子力発電やまちづくり、エネルギー政策など率直な討論が聞けて参加者の意識の高さを実感できました
村の取組や政策にも話題が広がって、興味深く聴講できました
- 参加者それぞれが発言できる運営であったこと。
- 原子力のエネルギー・交付金等について知り、原発のあり方について考えさせられた（難しい）
- 参加している方のうち、発言機会がない方がいらっしやるため
- 交付金は当たり前とは思いません。原発事故が起こったら周辺地域も同じリスクを負う。交付金無しはおかしいのでは。国が勝手に払うものに、私たちの税金は使われたくないです。金銭で解決する、永遠に続かない、国の予算が続かないから。安全なエネルギー、国民全体が満足するエネルギー政策をデザインする必要があるのではないのでしょうか。その議論に国民も関わるべき。海外の事情などをもっと知りたいと思いました。
- 交付金の内容や原子力による村の恩恵を知ることができた
- 信州大学の茅野教授の意見は参考になったが、原発事業者に意見を求めることはいかかなものか。
コーディネーターがしゃべりすぎ
- 経済性については、述べていますが、CO2の問題から原発は必要性については。その旨述べるのを追加しないと原発はコストが高いのに終わってしまう。
原発はコストが高い。そう理解されています。バランスのとれた講演を期待します。茅野先生の意見には異論があります。
- 色々な意見が聞かれて大変参考になった。
- 原発肯定論者の傲慢な発言が目立つ。あまりに勉強不足だが進め方にも問題がある。

3 その他、東海村「自分ごと化会議」についてのご意見、ご感想などがありましたらご記入ください。

- 特になし
- アンケートを読むと、推進側的な会議となっているとのわだかまりを持っていると感じるので、例えば反対する方がそっぽを向くような会議にならなければ良いと感じます。あくまで中立であることを確認しながら進めても良いかもしれない。
- 1. 会議メンバーが原子力関係者に片寄っているのではありませんか？
2. 代理出席はありえないことは当然です。
3. どんな村にしたいか／するか 議論がたのしみだ。
- 議論の進め方、議題の決め方、最後の提言と全て参考になるものです。
毎回大変でしょうが、頑張ってください。
- 東海村の良いところに、今も昔も、知恵に、今も昔も、「知恵にカネを払う」ところ。
この会議もそうだと感じる。知恵のあるところに、ヒト・カネが集まる。
- メリットデメリット、両論出ていくような会議で今後も継続して欲しい
- 毎回楽しみにして参加してます。引き続き素敵な議論ができるよう運営をお願いします。
アンケートにもあったが、公開はWEB 配信のみにして、参加者がおしゃべりしやすい雰囲気をつくることも大事かも。まだまだ、ひかえめな感じがしますね。
- 住民の人達が、一番不安に思っているのは「重大事故発生リスク」や「事故による被ばくや汚染リスク」が、どれほどあるのか？だと思います。
次の話題提供の1つに上記のリスク説明や一般リスクとの比較など入れて欲しい。
「地球温暖化対策」とCO2を出さない電源の情報提供を入れて欲しい。
全体的な進め方として、「自分ごととして考える」には提供情報の幅が狭すぎて、少なすぎです。まずは資源エネ庁の「基本政策分科会」での資料や情報がベースが必要です。
- 今後も期待しています。頑張ってくださいようおねがいします。
- 交付金で原発のみの金額ははっきりしないと村長。それほど財政のしめる割合はないにもかかわらず、世界的に原発はキケンで高コストである。再エネが主流であることをもっと議論して欲しい。
- 司会者が良かった
- ゲストの位置づけをゲストに十分理解してもらった上で招へいする必要あり。
- 話題提供者は必要なし。
自分達だけで話し合いで良い。
- エネルギー全体の話題にしてしまうと、日本全体のテーマになってしまう。東海村にある東海第2に、フォーカスした議論にした方が深まると思う。なぜなら当事者しか言えない事もあると思うので。
- 第1回目の傍聴者アンケートの中で「住民投票」に言及しているものが有り、今回の会議の趣旨に反している。この点は是正の注意をするべき。公開すべきではないアンケート結果。井上先生の説明は公平でとてもよかった。

- マスコミ報道について、極めて中立の立場での報道を進めて欲しい。(自分ごと化会議に関して)
- 自由討議の時間が足りなかったように思います。
住民の意見をもっと聞きたかったなと思います。
- 1回目で説明されていたのかもしれないが、会議の目的がわからなかった。
「自分ごと化」と言うのに議論をまとめようとする意味→キーワードを2つ提示する意味、公開している意味がわからない。
話題のスピーカー、話題内容は構想日本が選ぶのではなく、会議参加者が選ぶのではないか
- 本音に近い意見が出ていると思うが、今後どうなっていくのか、参加者はふあんなのでは？
ファシリテーションにきたいします。もう少し時間をコントロールした方がよいと思います。
- 今回もコーディネーターの安定した進行に感服しました。
- 司会進行の方法について妥協的なものを感じた。〈コウソウニッポン〉って何？脱炭素という概念はおかしい。
- 会場で避難ルートの資料など配ってほしい
- 「フリーにいろんな意見を求める」としているようですが、村長を含め行政の担当者が多数参加による無言の「圧力」と受けとられるのではないのでしょうか。
- 村民が1番関心をもつ「避難計画」について議論して頂きたい。議論の中で良い知恵が出るかも知れない。
- 参加者に基本的な問題点をレクチャーしないままの話し合いでは深まりません。
原発マネーにまみれることに何の疑問も持たない発言が多いようです。
「金で解決」「いやなら出ていけ」「原発のあとから住んだ人は反対するのはおかしい」
など粗暴な発言が放置されるのはとんでもない。”